



▲山頂から昇る初日の出を拝む

2025年の初日の出を臨む

元旦の早朝、毎年恒例の加西市青少年団体連絡協議会主催による「新春のつどい」が開催されました。参加者約 300 人は、ランドマーク展望台に登頂し、初日の出を迎えました。下山後、アラジンスタジアム駐車場で今年の漢字「熱」が発表された後、恒例のお年玉抽選会を楽しみました。

クラシック音楽で心躍る時間を

アスティアかさい交流プラザで 12 月 19 日、「100 万人のクラシックライブ」が開催されました。ヴァイオリニストの細川奈津子さんとピアニストの島田美穂さんにより 8 曲が披露され、100 人を超える観客とともにクリスマス前のお昼のひと時を生の音楽で楽しみました。



▲音楽を通じてコミュニティの活性化を目指す「一般財団法人 100 万人のクラシックライブ」の活動に賛同し、「有限会社大西殖産」の協賛によりライブを開催

室町時代から続く伝統行事

東光寺（上万願寺町）で 1 月 8 日、「田遊び・鬼会」（国重要無形民俗文化財）が行われました。「田遊び」では福太郎、福次郎、田主が五穀豊穡を願い農作業のしぐさを奉納、「鬼会」では「鬼こそ鬼よ」とかけ声の中、赤鬼がたいまつを柱に打ち当て、青鬼が矛を突き出して暴れ回り、災厄を払いました。



▲たいまつをふりかざし悪霊や災難を追い払う鬼

お気に入りの本でつながる輪

アスティアかさい交流プラザで 12 月 15 日、「第 3 回加西ビブリオバトル」を開催しました。子ども 6 人、大人 11 人がみんなにぜひ読んでほしい推し本を紹介しあい、本で人と人がつながる催しとなりました。チャンプ本は以下で決定。

- 大人の部 藤原省三さん「名探偵ホームズ瀕死の探偵」
- 子どもの部 馬渡敦生さん「分解する図鑑」



▲本を紹介している馬渡 敦生さん

心つなが、ぬくもりある一日に

イオンモール加西北条で 12 月 7 日、「みんなの福祉フェスタ 2024」が開催されました。約 400 人が参加し、温かい雰囲気の中で行われました。開催日は障害者週間の期間中であり、障がいのある方への理解を深め、誰もが暮らしやすい社会について考える機会となりました。



▲放課後等デイサービスの子どもたちや、会場を訪れた子どもたちが作成したクリスマスツリー

冬の空を気球が彩る

「ハッピーバルーンクリスマス in 加西」が鵜野飛行場跡で 12 月 14、15 日に開催されました。強風で気球搭乗体験は中止となりましたが、セント・バルーン・ナイトでは天候に恵まれ、12 機の気球が光と音楽の共演で会場を盛り上げました。最後は、花火が加西の夜空を彩りました。気球 VR 体験や鵜野浪漫飛行 MARKET、ヴィンテージカーパレードなどもあり、一日中楽しめるイベントとなりました。



▲吉田会長（右）は「病院の存在が安心につながります。一年間ありがとうございました」と生田院長に伝えました



▲「バーナーオン」のアナウンスでバーナーの炎で輝く 12 機の気球と花火で彩ったセント・バルーン・ナイト

病院サポーターの会が感謝の気持ちを

加西病院サポーターの会（吉田廣会長）は 12 月 26 日、年末年始も休まずに医療業務に従事している加西病院の医師や医療スタッフに対して、パンや果物など約 360 人分の差し入れと、感謝の気持ちを込めた手紙を生田肇院長に贈りました。

宇仁小3年が育てた野菜を販売

宇仁小 3 年の児童 7 人が 12 月 7 日、滝野温泉ぽかぽで開かれた「宇仁の朝市」で野菜を販売しました。自分たちで育てた野菜を宇仁地区の方に食べてほしいと、9 月初めに種まきをし、害虫対策に苦労をしながらも、サツマイモやダイコンなど 7 種類を育てました。岡田楓愛さん（青野町）は「みんなに新鮮な野菜を味わってほしい」と話しました。



▲児童たちは元気にレジ対応や販売を行い、一時間ほどで完売

成長する一年に

新年交歓会（加西市・加西市議会・加西商工会議所主催）が 1 月 6 日、健康福祉会館大会議室で開催されました。市内の各種団体の長や企業代表など、約 230 人が参加しました。新年の門出を祝うとともに、抱負や希望を語り合い交流を深めました。



▲加西商工会議所の濱本 泰秀会頭の音頭で乾杯が行われました

国境を超えた多文化交流会

加西市国際交流協会主催の「インターナショナル望年会」が 12 月 22 日、アスティアかさい交流プラザで開催され、10 カ国の外国人の方約 140 人が参加しました。市民や団体からいただいた品物を、無料バザーで参加者に提供されました。他にも、加西市連合婦人会からたこ焼きの提供や、ステージパフォーマンス、多国籍料理なども楽しみました。



▲望年会に参加した皆さん